

別記 1 (1)

県有林立木調査業務委託仕様書（毎木調査）

第 1 一般的事項

県有林の立木調査業務委託は、この仕様書により実施するものとする。ただし、現地状況等の特殊な事情からこの仕様書により難しいとき、又はこの仕様書に明示されていない事項については、監督職員に報告のうえ指示を受けるものとする。

第 2 受注者の遵守事項

- 1 受注者は、林野火災その他の災害防止について、万全の措置を講ずるものとする。
- 2 受注者は、林内の立木及び施設等を損傷しないよう留意するものとする。

第 3 調査事項

1 調査の対象

- (1) 調査の対象は、胸高直径の測定値が、針葉樹については 10cm 以上、広葉樹については 20cm 以上の立木とし、枯損木及び形質不良木（以下「形質不良木等」という。）を除くものとする。

この場合の形質不良木等とは、枯死木、中折れ、幹腐れ、著しい曲り等がある立木とし、この取扱いは、監督職員の指示によるものとする。

(2) 樹種の区分

樹種の区分は、原則として胸高直径別に下表のとおりとする。

針・広別	胸高直径の測定値	樹 種	備 考
針葉樹	10cm 以上	スギ	
		ヒノキ	
		サワラ	
		アカマツ	
		カラマツ	
		その他 N	上記以外の針葉樹全て
広葉樹	20cm 以上 24cm 未満	ザツ	
	24cm 以上	クリ	クリ属全部
		ケヤキ	ケヤキ類全部
		ナラ	コナラ属全部
		その他 L	上記以外の広葉樹全て

2 胸高直径の測定

- (1) 調査者は、斜面の山側に立ち、斜面に直角方向の直径を測定する。
- (2) 測定の位置は、立木の山側の地際から 1.2m の高さ（以下「胸高」という。）とする。
- (3) 測定器具は、原則として輪尺とする。
- (4) 測定の単位は 2 cm 括約とし、測定値は、次のように取扱うものとする。

9 cm 以上 11cm 未満の場合 10cm

11cm 以上 13cm 未満の場合 12cm

- (5) 胸高付近の断面が扁平し、斜面に直角方向の直径とそれに直交する直径の測定値に 20%以上の差がある場合は、斜面に直角 2 方向の直径を測定し、その平均値を測定値とする
- (6) 胸高付近に、枝、節、瘤、その他著しい不正形状を有する場合は、当該箇所の上下等間隔の 2 点における直径を測定し、その平均値を測定値とする。
- (7) 胸高付近に、つる、きのこ、コケ、極端な粗皮等が付着しているときは、これらのものを除去したうえで測定する。
- (8) 胸高より下の位置で幹が複数に分岐している場合、最も太い幹は、地上から 1.2 mの高さ、他方は分岐点から 1.2mの高さを測定する。
- (9) 根曲り木は、根と幹の交点の地際から 1.2mの高さを測定する。
- (10) 胸高直径を測定した立木には、胸高付近の任意の箇所にナンバーテープを貼付する。

3 樹高の測定

- (1) 樹高は、斜面上方の地際から梢端までの高さとする。
- (2) 測定器材は、原則として樹高測定器とする。
- (3) 測定の単位は、0.1mとする。
但し、計測器具により 0.1m単位の測定が難しい場合は、0.5mを標準とし、発注者と協議のうえ決定する。
- (4) 樹高は、樹種毎に、各直径階 5 本以上の標準的な樹高を測定する。
但し、直径階の成立本数が、5 本に満たない場合は、1 本以上の測定とする。
- (5) 測定は、測定木の樹高に相当する水平距離を確保し、測定木の根元（又は胸高）と梢端が同時に見える位置で行うこととする。
- (6) 樹高の測定は、生育状況を勘案のうえ、測定木が一部の区域に偏ることのないようにすること。

4 調査結果の整理

- (1) 胸高直径及び樹高の測定値は、調査区域毎に立木調査野帳（様式第 2 号）に整理する。
- (2) 調査区域毎、樹種毎に樹高曲線表を作成のうえ、直径階毎の平均樹高を求め、樹高計算表（様式第 3 号）に整理する。
- (3) 調査区域毎、樹種毎に立木材積を計算し、その内容を材積計算表（様式第 4 号）に整理する。
- (4) 上記（1）～（3）の結果を基に立木調査集計表（様式第 1 号）に整理する。
- (5) 立木に貼付したナンバーテープの番号及び位置等をナンバーテープ使用状況図（別紙 1）のとおり記入する。

5 成果品

- (1) 立木調査集計表（様式第 1 号）
- (2) 立木調査野帳（様式第 2 号）
- (3) 樹高計算表（様式第 3 号）
- (4) 材積計算表（様式第 4 号）
- (5) ナンバーテープ使用状況図（別紙 1）

6 成果品の提出

- (1) 材積は、胸高直径と樹高から材積表（県有林収獲調査諸表）により求めること。
- (2) 上記5の成果品は、紙媒体に加え、電子データ（(1)～(4)はExcel ファイル）も提出すること。

様式第1号

立木調査集計表

事業区名	
------	--

対象面積	
------	--

毎木調査						
項目	単位	内 訳				計
樹種		スギ	アカマツ	カラマツ		
本数	本					
材積	m ³					
標準地調査					備 考	
測量延長	m					
測量面積	m ²					
標準地延長	m					
標準地面積	m ²					
標準地割合	%					
		内 訳				計
		スギ	アカマツ	カラマツ		
調査本数	本					
調査材積	m ³					

特記事項

様式第2号

立木調査野帳

No. _____

事業区

ブロック

調査 年 月 日

調査者氏名 _____

[illegible][illegible]

様式第3号

樹高計算表

No. _____

事業区 _____

_____ブロック

樹 種 _____

No.	胸高直径	樹高

No.	胸高直径	樹高

No.	胸高直径	樹高

樹高曲線表

--

計算結果

胸高直径	測定値	平均樹高

(注)直径階毎の平均樹高はメートルを単位とし、測定値の少数第1位を四捨五入して整数止めとする。

様式第4号

材積計算表

No. _____

事業区 _____

_____ ブロック

樹 種 _____

胸高直径	樹高	本数	単材積	材積	摘要
計					

ナンバーテープ使用状況図

